

連絡帳 深川小学校



タグラグビーは
楽しいよ

坂田隆治さん
深川小学校 6年

ぼくたちの深川小学校では、体育の学習でタグラグビーがあります。タグラグビーとは、ラグビーと似たスポーツですが、タックルの代わりにこしに付けたタグを取ります。ラグビーほどはげしくなく、みんなが楽しんでゲームをすることができるので、ぼくはこのタグラグビーが大好きです。

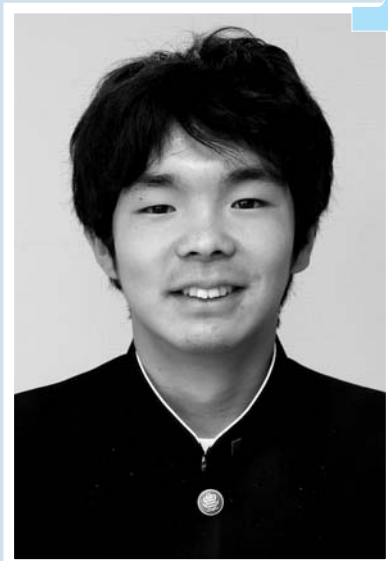
ぼくは、4年生からタグラグビーを知ったのですが、始めはただタグを取りあうだけでした。だけど、5年生になって、新しいルールやクロス、フエイントなどをコーチに教えてもらって、ますます楽しくなってきました。5年生では、クラスマッチも行いました。どのクラスも練習をがんばりました。

ぼくたちのチームでは、作戦を考えて戦ったのですが、思うような作戦通りにはなりません。結果は残念ながら負けました。でも、とても楽しいクラスマッチでした。

今年も体育でタグラグビーをするのが楽しみです。今年、作戦をもっと考えて、みんなを回し、クラスマッチではぜひ勝ちたいです。



連絡帳 大津高校



絶響
Scream!!!

坂水貴司さん
大津高等学校 3年

3月25日、長門市中央公民館で大津高吹奏楽部の定期演奏会を開催しました。

今年の演奏会は、「絶響 Scream!!!」をテーマに、私たちの心からのエネルギーを響きに変え、音楽を奏でられるように努めてきました。

私はこの演奏会で多くの仲間やOBの方々の思いやりを感じることができました。皆で苦悩し、一つのものを作り上げたということはとても貴重で、かけがえのない体験でした。

近頃はコミュニケーションが上手にとれない若者が増加していると言われています。私はこの演奏会、さらには音楽によってコミュニ

ケーションの大切さを学びました。人とのコミュニケーションは音楽に必要不可欠なのです。

よい音楽は必ず人を幸せにしてくれます。大津高の吹奏楽部として仲間と共に音楽ができる喜びを何よりも大切に、この大津高から人を幸せにできるような素晴らしい音楽を発信していけるよう、日々努力していきたいと思えます。



吹奏楽部のメンバー

ちょっと小耳に

素直な気持ちで



松田有里佳さん
大津高等学校 3年

「どんな小さな役にも、ここに意味があると思うんですよ」と、芝居にかける思いを語る松田有里佳さん。

松田さんは、現在大津高校の3年生。ルネッサなどが上演されていた「ながと近松実験劇場」の舞台を観て、自分もやってみたいと舞台へ。これまでに同実験劇場第9・10回公演をはじめ、国民文化祭「みすゞ夢空間」かんげき空間」や大津あきりりーディングドラマ「輝きながら…」など多くの舞台に出演。現在は「近松八展劇場」のメンバーとしても活躍中。

「演じるというのは、自分に

とっては「ウソ」なんです。でも自分にウソをついているとんだか気持ち悪くって。その役の気持ちを伝えるために素直にそういう気持ちになろうと心がけています」と言う松田さん。

「お芝居を通じていろいろな人と出会い、様々な経験をしました。それをうまく活かせる大人になりたいです」と抱負を話してくれました。



みすゞ夢空間にて

熱血! 新鮮力

困っている人に役立つ人



三輪一貴さん
長門大津農業協同組合 勤務

※仕事は 4月から金融部業務二課で貯金や積立など金融の窓口業務を担当しています。専門用語が多く大変ですが、がんばって勉強しています。

※目標は 一通り仕事の流れを把握して、安心して仕事を任せられるようになりたいですね。そして、困っている人がいれば、気軽に相談にのり、役立てるようになりたいですね。

※趣味は ダーツです。単純そうに見えてかけひきや頭を使うので、奥の深いゲームですよ。それと、映画もよく見にいけますよ。



※好きなタイプは やさしくて包容力のある心の大きい人がいいですね。結婚は30歳くらいまでできればと思っています。

※自由に一言 長門に帰ってきたので、地域のイベントなどにも積極的に参加し、いろんな団体や人と知り合いたいと思います。